

令和5年度東京都自立支援協議会活動状況

第8期 東京都自立支援協議会委員名簿（令和5年度）

令和5年6月5日現在

番号	役職	名前	所属	番号	役職	名前	所属
1	副会長	秋元 妙美	CILちょうふ 代表	11		高橋 薫	社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会 豊島区立目白福祉作業所
2		荒木 浩	社会福祉法人多摩棕櫚亭協会 障害者就業・生活支援センター オープナー 施設長	12		田名邊 要策	北区福祉部 障害福祉課長
3	会長	岩本 操	武蔵野大学人間科学部人間科学科 教授	13		東條 左絵子	障害者施策推進部 地域生活支援課長
4		神作 彩子	大田区立障がい者総合サポート センター相談支援事業所管理者	14		仲田 素直	社会福祉法人東京緑新会 地域生活相談室 おあしす
5		北川 多恵子	世田谷区北沢総合支所 保健福祉センター健康づくり課 保健相談係長	15		西田 伸一	公益社団法人東京都医師会 理事
6		久保 玄	社会福祉法人原町成年寮 サザンクロスかつしか 所長	16		根間 あさ子	認定特定非営利活動法人 多摩草むらの会 パソコンサロン夢像 生活支援員
7		小阪 和誠	社会福祉法人ソラティオ 精神障がい者相談支援事業所コンパス	17		藤井 亘	特定非営利活動法人クローバー 事務局長
8		後藤 憲治	大田区福祉部調布地域福祉課 身体障害者支援担当	18		村中 友江	社会福祉法人原町成年寮 生活介護事業所 シャングリラ
9		斎藤 剛	青梅市健康福祉部障がい者福祉課長	19	副会長	森山 瑞江	社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会 副理事長
10	副会長	曾根 直樹	日本社会事業大学 福祉マネジメント研究科 教授	20		龍 佑企子	中央区福祉保健部障害者福祉課 相談支援係長

※五十音順

活動のまとめ

【第8期テーマ（令和5・6年度）】

協議会において合理的配慮による当事者の主体的な参画を推進するとともに、地域課題への取組過程の共有により、地域協議会活動の活性化を図る

令和5年度活動方針：地域協議会間のつながりをつくりながら、当事者の主体的な参画による、地域移行・地域生活支援への先駆的取組を共有する

第1回本会議 6月5日（月）13時30分から16時00分まで

<報告事項>

○「令和4年度版 東京都内の自立支援協議会の動向」調査結果について

<協議事項>

- (1) 第8期東京都自立支援協議会のテーマ及び令和5年度東京都自立支援協議会活動方針（案）について
- (2) 令和5年度東京都自立支援協議会活動計画（案）
- (3) 東京都自立支援協議会の情報発信・情報共有のツール
- (4) 令和5年度東京都自立支援協議会のツールと考え方
- (5) グループ活動の振り分け（案）について

第2回本会議 2月22日（木）13時30分から16時00分まで

<報告事項>

○令和5年度東京都自立支援協議会活動報告

- (1) 令和5年度地域自立支援協議会交流会の開催報告
- (2) 令和5年度東京都自立支援協議会セミナーの開催報告
- (3) 令和5年度東京都内の自立支援協議会の動向（動向集）の報告
- (4) 地域自立支援協議会担当者連絡会の開催について
- (5) その他

○東京都からの報告

- (1) 東京都障害者・障害児施策推進計画（案）について御意見を募集します
- (2) 令和5年度東京都障害者総合支援法等関連研修の実施状況について
- (3) 東京都障害者相談支援体制整備事業のご案内
- (4) その他

<協議事項>

- グループ討議の進め方について
- (1) 令和5年度東京都自立支援協議会活動の振り返り
- (2) 令和6年度東京都自立支援協議会に向けた意見交換について

当事者参画推進グループ ・ 協議会活性化グループ

地域協議会の情報把握・共有

地域自立支援協議会交流会

日時：8月28日（月）13時から16時30分

会場：東京都社会福祉保健医療研修センター

テーマ：地域協議会間のつながりをつくりながら、当事者の主体的な参画による地域移行・地域生活支援への先駆的取組を共有する

(1) 話題提起

- ・八王子市障害者地域自立支援協議会
- ・杉並区地域自立支援協議会

(2) グループ討議（10グループ）

(3) 全体発表

※話題提起及び討議結果の内容をまとめ、交流会終了後に区市町村へ情報提供

自立支援協議会担当者連絡会

(1) 第一回 WEB開催

日時：8月22日（火）

13時30分から15時15分まで

- 内容：・情報提供
・動向集の報告と意見交換（国分寺市・八丈町）
・交流会のお知らせ

(2) 第二回 WEB開催

日時：10月30日（月）

13時30分から15時15分まで

- 内容：・基調講演
・先進事例発表（世田谷区・国分寺市）
・交流会後の進捗状況の発表
・セミナーのお知らせ

東京の協議会活動の普及啓発

東京都自立支援協議会セミナー

日時：12月11日（月）13時20分から16時10分まで

会場：東京都庁第一本庁舎 5階大会議場

テーマ：当事者主体の地域移行・地域生活支援とは

第1部：基調講演

厚生労働省専門官 松崎貴之氏

第2部：パネルディスカッション

パネリスト

障害当事者・支援者による発表

- ・ヒューマンケア協会 内山裕子氏
- ・支援者 松田真実氏
- ・畑中たましる荘 中尾良彦氏
- ・支援者 有山一博氏

地域協議会の情報共有・発信

東京都内の自立支援協議会の動向

編集方針

- (1) 継続調査は引き続き行うが、設問項目を更新する。

- (2) 今年度の活動方針に沿った設問項目を新設する。

- (3) 先進事例や障害当事者の発表などをコラムのようなかたちで掲載する。

地域自立支援協議会交流会の開催報告

1 目的

- 都内の地域自立支援協議会関係者の交流の場を設定し、活動状況等に関する情報交換を実施することにより、各地域自立支援協議会の円滑な運営や活動の活性化を図る。
- 東京都自立支援協議会として、都内の地域自立支援協議会の活動状況等を把握する。

2 取組ポイント

- 「地域協議会間のつながりをつくりながら、当事者の主体的な参画による、地域移行・地域生活支援への先駆的取組を共有する」という都協議会の活動方針のもと、例年より幅広い声かけを行った。
- 話題提起では、市部と区部地域協議会より、「当事者の参画による地域移行・地域生活支援への取り組みの意義」について、行政の職員と当事者委員の方から先駆的な取組報告を行った。
- グループ討議では、参加区市や地域協議会での立場が異なるメンバーで10のグループを作り、当事者が参画する意義や合理的配慮、地域移行・地域生活支援を進めるうえでのヒントなどについて、話し合い、全体発表を行った。

3 アンケート結果 75名

* 区市町村からの参加者：78名（14区12市） ※申込者89名（14区14市）

（1）話題提起

評価	非常に参考になった	参考になった	あまり参考にならなかった	参考にならなかった	無回答	合計
人数 (%)	35 (46.7%)	39 (52.0%)	1 (1.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	75 (100%)

（2）グループ討議

評価	非常に参考になった	参考になった	あまり参考にならなかった	参考にならなかった	無回答	合計
人数 (%)	30 (40.0%)	41 (54.7%)	2 (2.7%)	0 (0.0%)	2 (2.7%)	75 (100%)

（主な意見）

- ・自分の市で「まず」は何をするのかというテーマが良かったです。
- ・テーマ設定が適切でグループ討議で意見を出しやすかった。
- ・他自治体の取組を知ることができ、当事者参画の重要性の意識が強まった。
- ・話題提起を聞いて、当事者の声をどのように聴き取るかを考えさせられた。地域自立支援協議会における当事者の座席の配慮、支援者の関わりについて考え直すきっかけとなった。
- ・当事者の声をいかにして聴き取り、当事者だけでなく、自区市町村民にどう理解してもらうかも重要な課題だと感じた。
- ・当事者がファシリテーターとして入ることで自協議会での当事者参画をイメージすることができた。
- ・対面でグループ討議を行うことで、各区市町村の熱量をそのまま感じることで良かった。
- ・当事者の方を交え、楽しい交流の場となった。「楽しい」から「積極的な意見交換」につながることを改めて実感した。
- ・地域移行について「にも包括」で検討している自治体がけっこうあると感じましたので、地域移行についてはテーマから外してもよかったのでは

自立支援協議会担当者連絡会の開催報告

1 目的

東京都自立支援協議会事務局から、時宜にかなう話題提供を行い、地域の協議会担当者同士で協議会の先進的な取組み、円滑な運営方法や活性化するための方策等を情報共有できる機会を設けることで、地域自立支援協議会の活性化を促進する。

2 内容

○第1回

【情報提供】テーマ これからの自立支援協議会に期待すること

発題者 厚生労働省社会・援護局障害保健福祉課地域生活支援推進室相談支援専門官
藤川 雄一 氏

【報告事項】報 告 令和4年度版東京の自立支援協議会の動向について

報 告 者 東京都心身障害者福祉センター 地域支援課長 外川達也

意見交換 国分寺市、八丈町など

○第2回

【基調講演】テーマ 長期入院者の地域移行支援に必要なこと～地域自立支援協議会でできること～

講 師 日本社会事業大学名誉教授 古屋龍太 氏

【先進事例発表】テーマ 精神科病院からの地域移行・地域生活支援について

発 表 世田谷区、国分寺市

【報告事項】報 告 令和5年度の地域自立支援協議会交流会を振り返って

報告者 東京都心身障害者福祉センター 地域支援課長 外川達也

3 参加者

第1回：47名（12区18市1町）、第2回：43名（12区11市）

4 アンケート等

○第1回

（プログラム内容への意見）

- ・ 協議会の活性化が期待されているということがよくわかりました。改正法施行に向けた、様々な準備について、自治体の担当者として焦る気持ちもありますが、「地域の状況に合わせた取り組みを着実にすることが大切である」という点も意識して取り組みたいと思います。

（今後とりあげてほしいこと）

- ・ 協議会運営で困っていることや悩んでいることの共有ができることよい。
- ・ 自立支援協議会を効率よく、有効に活用するために各自治体で取り組んでいる内容（自立支援協議会の体制見直し等）について
- ・ 地域生活支援拠点の現状、地域移行、「にも包括」について各自治体で共有

○第2回

（基調講演について）

- ・ スライド67の「あなたへの問い」や、スライド72の「住民参加のはしご」の部分が、胸に響きました。今度こそ、今こそ変わらなくては、変えなくてはと強く思いました。
- ・ タイソクプロジェクトが具体的でわかりやすかったです。直近の調査結果からコロナ後の状況が知れたことも参考になりました。

（先進事例発表について）

- ・ 当市も現在病院調査中のため、今後、長期入院患者がいる病院へのアプローチの参考になった。ピアサポーター育成についても同様に模索中のため事例を参考にしたい。
- ・ 当方でも病院向けアンケートを今年は実施予定にしているため、退院喚起のツール（動画）や、世田谷区の地域移行の事業マップが分かりやすく参考になりました。先進事例を具体的に教えてもらえてありがたいです。

（報告事項について）

- ・ 第1回交流会での学びを振り返るいい機会でした。意思表示をすることで、ちゃんとすすめないといけな、とモチベーションにつながっています。

東京都自立支援協議会セミナーの開催報告

1 目的

障害者総合支援法等における相談支援体制等、東京における共通課題や取組、協議会活動の活性化策などについて、東京都自立支援協議会本会議での検討等を踏まえた講演及びパネルディスカッションを実施することにより、広く関係者へ情報発信を行い、自立支援協議会活動の普及啓発を図る。

2 取組ポイント

- (1) 令和5年度の活動方針「地域協議会間のつながりをつくりながら、当事者の主体的な参画による、地域移行・地域生活支援への先駆的取組を共有する」に基づき、これまでの協議会における地域自立支援協議会交流会等での取組経過を踏まえ、当事者の主体的な参画による地域移行・地域生活支援への取組の意義について情報発信することで協議会活動の普及啓発を図ることを目的とした。
- (2) 「当事者主体の地域移行・地域生活支援とは」をテーマに、第一部の基調講演では「当事者の暮らしを支える地域づくり」について、第二部のパネルディスカッションでは、実際に地域で生活をされている障害当事者とその支援者の率直な想いを伺いながら、地域移行・地域生活について参加者と一緒に考えることをねらいとした。

3 参加者

- (1) 会場参加
136名（受講者100名、聴講者36名）
- (2) 動画視聴
287名（申込者数）
再生数は、開会あいさつ：229（19）、第1部：308（22）、第2部：282（39）
※（ ）内の数字は、手話版の再生数を内数で示したもの

4 アンケート結果

(1) 第1部 基調講演

	大変参考になった	参考になった	普通	あまり参考にならなかった	全く参考にならなかった	無回答
会場	40(46.5%)	42(48.8%)	2(2.3%)	1(1.2%)	0(0.0%)	1(1.2%)
動画	25(39.0%)	33(52.0%)	6(9.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)

(自由意見・会場)

- ・令和6年度報酬改定の論点について、基調講演の中で現時点の最新議論をご説明いただけて、大変参考になった。
- ・盛りだくさんの内容だったが、報酬改定に盛り込まれた内容を含め、ポイントを理解できた。
- ・なかなか意図を説明してもらえる機会がないので良かった。
- ・地域において、今後どのような課題に取り組むべきか、具体的な方策が明確になってきた。
- ・法改正を見据えて、協議会の運営をしていかなければならないと感じた。
- ・いろいろな方面から障害者の支援をする方法を考えてくださっているのが伝わってきた。実際にそれらが構築されることを期待しているが、「絵に描いた餅」にならないことを願う。
- ・国が考える理想と福祉現場の現実のギャップがあると感じる。地域の実情というキーワードで全て地域に押し付けている感じが否めない。

(自由意見・動画視聴)

- ・個人支援のミクロの視点から地域づくりのマクロの視点まで連関されていたので、非常に理解しやすかった。また、着々と日本の法制度が改正されていることを非常に嬉しく思う。

- ・細かい資料ではあったが、登壇者の説明や挿絵でよくわかった。私はグループホームの管理者の立場なので、一人暮らし支援をこれからも続けていけるように努めていこうと思う。
- ・自立支援協議会に参加をしているが、方向性の再確認が出来た。
- ・大変勉強になった。制度と実態のギャップにジレンマを感じるが、知っていないと前に進めない内容だと思う。
- ・あらためて制度についての詳細を聞くことにより、地域生活支援拠点や基幹相談支援センターを筆頭とした事業所や関係機関による、地域での生活を支える体制づくりの重要性を感じた。また、令和6年度の報酬改定の趣旨や方針を知ることにより、障害者の自立促進に関する支援の強化が必要であると感じた。

(2) 第2部 パネルディスカッション

	大変参考になった	参考になった	普通	あまり参考にならなかった	全く参考にならなかった	無回答
会場	50 (58.1%)	30 (34.9%)	2 (2.3%)	1 (1.2%)	0 (0.0%)	3 (3.5%)
動画	28 (44.0%)	31 (48.0%)	4 (6.0%)	1 (2.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

(自由意見・会場)

- ・支援をする側とされる側、両方の意見が大変分かりやすく説明されていてとても良かった。障害を抱える者の一人として勇気を頂いた。
- ・障害者差別や偏見と向き合う方々の様々なご苦労が実感できた。「人間らしく生きる」は誰にとっても大切なことだと思う。
- ・なかなかご本人が、ここまで（手話を含めて）発表していく機会がなかった。具体的な事例に対しての困難さ、重要なポイント等知ることができた。それが非常に新鮮だった。
- ・私の法人では、居住支援法人もやっており、お部屋探しの課題は本当に実感しているところでもある。ふだんは精神の方々を中心に支援しているが、他障害の方の部屋探しの話を聞けて良かった
- ・現在、一人暮らしを希望する方の支援を行っているので、参考になった。やはり物件探しが難しいと感じるので、実際のやりとりなど、もう少し聞きたいと思った。
- ・地域移行は身体の方はご意向がはっきりしているので進めやすい（という言い方はよくないが）と感じた。障害別にするのはもちろんよろしくはないが、障害特性は踏まえて検討が必要

(自由意見・動画視聴)

- ・移行できる力があっても、実際に移行していくまでの知識や経験が必要で、それらをサポートしていく基幹相談支援センターの役割が重要であることを改めて感じた。まだまだノーマライゼーションの課題は多く、支援者として、障害に対する認識不足からくる相手の不安を解消できるようなサポートをしていきたいと思った。
- ・今後の地域移行の多くの対象者が精神障害や知的障害だと思うので精神・知的の当事者の話や成功事例の話を聞きたかった。
- ・体験者でないと分からない大変な事や良かった事が伝わって来た。体験者が増え、一人暮らしが当たり前に出来る社会になれば良いと思った。障害当事者が相談支援にあたるのは、気持ち的理解しやすく良いと思った。私たちも地域で一緒に出来る事はないか、考えさせられた。
- ・地域移行は、本人の意向だけでは実現できない。特に住宅とマンパワーが欠かせない事が良く分かった。ただ、本人の強い意志が大きな機動力になる事も理解した。
- ・当事者の方の率直な意見は普段あまり聞ける機会がないため、今回は貴重な場でした。
- ・当事者の貴重な意見が聞けて参考になりましたが、地域移行の必要性については物足りなかった気がしました。

(3) セミナーの開催手法等

<会場参加を選択した理由>

- ・当事者の方の話を生で聞き、そのニュアンスをしっかりと分かったかった
- ・会場参加の方が、より会場の熱量、雰囲気を感じることができると思ったから
- ・オンライン→二感、オフライン→五感。会場参加の方が得るものが多いと思う。
- ・動画だと、いつでも見られると思ってしまい、関心のあるセミナーでも、日々の予定の中で視聴が後回しになってしまうから

<動画視聴を選択した理由>

- ・字幕があって聞き逃しが無いので
- ・会場への移動時間が短縮できること。感染予防であること。好きな時間に拝聴できること。
- ・時間的な余裕がない為、今回も業務時間外で視聴した。
- ・聴きたいところを何度でも聴けて、都合よい時間に視聴できるので動画視聴を選択した。
- ・平日の日中は参加が困難であり、動画であれば好きな日時で、分割しながら視聴できるため。また、理解できなかつたら何度も聞き返せるのもいいと思った。
- ・勤務の状況や会場までが遠方の為、行く事が難しい。

<セミナーの運営等>

(自由意見・会場)

- ・会場はアクセスが良く、広く余裕がある点も良いと思った。
- ・ずっと手話通訳があつたのは良かった。(共に考える機会になった。)スクリーン部分は、もう少し暗くすることは可能だったか。
- ・資料の字がもう少し大きければ読みやすいと思った。
- ・テーブルなどがあると良い。

(自由意見・動画視聴)

- ・この度の動画配信で自由に拝聴できること感謝いたします。今後もこのような機会があればぜひ参加させていただければと存じます。ありがとうございました。
- ・画面上のワイプの手話通訳が小さ過ぎて手話を読み取るのが難しかったので、手話通訳の画面はもっと大きくしてほしいです。また手話通訳の画面(ワイプ)も暗く感じました。同様に有山さんの画面も小さ過ぎです。手話がある部分は最初から大きくして頂きたいです。
- ・字幕がついていて、視聴しやすかったです。ただ、複数誤字や変換ミスが見受けられたのが残念でした。

(4) 第8期東京都自立支援協議会について

<当事者の主体的な参画を推進するための働きかけを行ってきたこと>

	たいへん良い	良い	普通	あまり よくない	良くない	無回答
会場	44 (51.2%)	33 (38.4%)	7 (8.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (2.3%)
動画	41 (64.0%)	20 (31.0%)	2 (3.0%)	0 (0.0%)	1 (2.0%)	0 (0.0%)

<地域自立支援協議会活動の活性化に向けた働きかけを行ってきたこと>

	たいへん良い	良い	普通	あまり よくない	良くない	無回答
会場	42 (48.8%)	34 (39.5%)	8 (9.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (2.3%)
動画	34 (53.0%)	28 (44.0%)	2 (3.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

＜今後の活動に期待すること。＞

（自由意見・会場）

- ・障害の範囲や状況、困りごと等、当事者それぞれだと思う。みなさんにスポットライトがあたればいいと思う。
- ・以前このセミナーに、私が係わる利用者さんが発表され、ご本人の大きな自信につながっていた。これからも応援したい。
- ・昨年も出席。このセミナーがもっと多くの方（住宅関連の方などにも）知ってもらったり、広がっていくといいなと感じた。
- ・知的障害者の地域移行はとても難しいと思うが、ぜひセミナーで議論してほしい。
- ・地域移行がなかなか進んでいないので、今回のセミナーのように、地域移行などをテーマにしたセミナーなどを開催していただけるとありがたい。
- ・当事者の方の地域移行において、支援者の確保も急務だと思うので、その点についても力を入れてほしい。
- ・地域協議会間の情報共有を行う仕組みがあると良いと思う。
- ・地域自立支援協議会の取組内容（動向集など）の分析等を通して、地域協議会の活性化を今後お願いしたい。
- ・基幹相談支援センターが設置されていない自治体について、バックアップ強化してほしいと考える。自立支援協議会自体についても、自治体によって取組の温度差があり、重要視されていないとしか思えない自治体に対して、働きかけを強化していただきたい。
- ・市区町村によっては、自立支援協議会への取組に温度差があり、都からコーディネーターが派遣できると良いのかなと思った。
- ・地域自立支援協議会の運営は、それぞれ課題があると思われる。その点を集約し、検討してほしい。（集約方法は、会長に聞くなど）

（自由意見・動画視聴）

- ・協議会間の意見や情報の共有を期待します。
- ・当事者の参画については、当自治体でも課題となっているため、都の協議会での事例は非常に参考となっている。今後も、様々な施策、事例について推進していただきたい。
- ・年に二回程セミナーを開催していただければ、と思います。
- ・毎回、都の自立支援協議会ならではの国の動きがわかるテーマ、講師で今後も期待しています。動向集も参考にしています。地域の自立支援協議会と連携が深まるよう、地域の委員にももっと周知していきたいと思います。今後も動画視聴を継続してくださるとありがたいです。
- ・障害福祉に10年以上関わっても、初めて知った事が多かったです。何か良い周知があればと思います。
- ・地域移行は沢山の機関と関わっていかなければならないためか中々進まない、進めるのにとっても時間がかかるものだと思います。認知度をもっと高めていく事で良い方向に向かうのではと思います。
- ・各市町村の自立支援協議会の現状について把握して欲しい。協議会の再編成で部会として省かれたり福祉サービスの全ての分野が所属していないことで情報が滞っている現状があるので各市町村の現状や設置義務までいかなくても報告義務などを設けて欲しい。

東京都内の自立支援協議会の動向（動向集）の報告

1 目的

東京都自立支援協議会の活動の一環として、各区市町村における地域自立支援協議会の活動状況等を把握し、調査結果を資料として供することで、各地域協議会の活動の促進を図るとともに、東京都自立支援協議会の活動とあわせて、都民に広く周知する。

2 方針

- (1) 継続して行っている調査については引き続き行っていくこととするが、設問事項に協議会活動の活性化と当事者参画推進という視点から設問項目を追加する。
- (2) 昨年度行った「地域移行・地域生活支援を進めるための社会資源」の部分は、交流会事前アンケート結果などを参考にしながら、今年度の活動方針に沿った設問項目に変更する。
- (3) 地域移行・地域生活支援に関して、担当者連絡会や交流会、セミナーなどで取り上げた「地域自立支援協議会における先進事例」や「障害当事者の発表要旨」をコラムのようなかたちで掲載する。

3 内容

- (1) 地域自立支援協議会の基本情報（名称、設置年月、運営方法、組織図、会議実施方法）
- (2) 地域自立支援協議会の委員（名簿、専門部会の状況、委員構成、当事者委員の参画状況）
- (3) 地域自立支援協議会の活動状況等
 - ア 地域自立支援協議会での協議事項
 - イ 地域自立支援協議会としての役割
 - ウ 地域自立支援協議会として把握している地域課題
 - エ 地域自立支援協議会における当事者の参画状況
- (4) 相談支援体制の整備状況等（基幹相談支援センター等の所数・機能、地域生活支援拠点等、日中サービス支援型共同生活援助）
- (5) 地域自立支援協議会の活性化（新規）
- (6) コラム（5本）

4 調査対象

都内全区市町村

5 基準日

令和6年3月31日

6 結果の公表

- (1) 冊子の発行
 - 区市町村障害福祉主管課、都協議会関係者、各道府県政令市障害福祉主管課等に配布
- (2) 東京都心身障害者福祉センターホームページへの掲載
 - ・冊子の掲載内容と同内容のものをホームページにも掲載する。
 - ・各地域自立支援協議会のホームページリンクを一覧にして掲載する。
- (3) 発行時期（掲載時期）
 - 令和6年5月（予定）

7 その他

都内全区市町村を対象とした調査票については、資料『「令和5年度版 東京都内の自立支援協議会の動向」調査票』を参照のこと。